

令和6年8月 台風10号に伴う 被災状況とNEXCO西日本の取組みについて



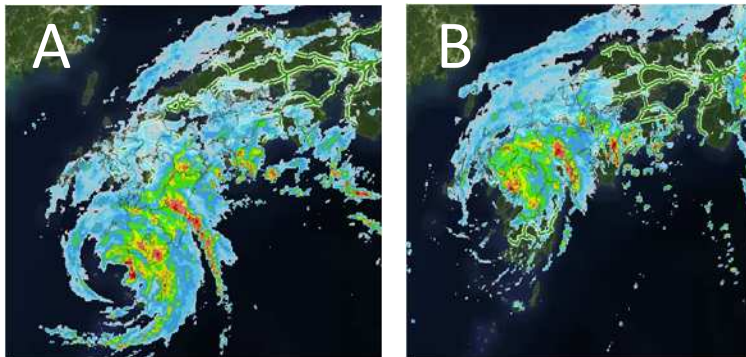
台風10号の概況



台風10号の進路図（実績）



気象レーダー



【台風の概況情報】

- [A] 28日13時 最も発達した時
大きさ --
強さ 非常に強い
中心気圧 935hPa
最大風速 50m/s 最大瞬間風速 70m/s
- [B] 29日8時 鹿児島県薩摩川内市上陸時 さつませんだい
大きさ --
強さ 強い
中心気圧 955hPa
最大風速 40m/s 最大瞬間風速 60m/s

【NEXCO西日本管内への影響】

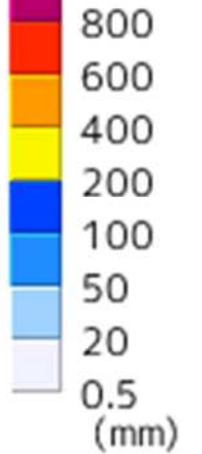
- 28日(水) 13:00 鹿児島県西部・東部、宮崎県南部に暴風・波浪特別警報が発表。その後、薩摩地方には高潮特別警報も発表された
- 19:30 鹿児島県で線状降水帯が発生。その後、29日にかけて大分県や宮崎県でも線状降水帯が発生
- 22:00 九州管内で最初の通行止め（南九州道 市来～鹿児島西）
- 30日(金) 6:05 中国管内で最初の通行止め（山陽道 小野田～宇部JCT）
- 31日(土) 9:32 全ての区間で大雨通行止めが解除
大分道 由布院IC～日出JCT、東九州道 臼杵IC～津久見ICは、災害通行止めに切り替え

72 時間降水量の期間最大値
期間：2024年 8月27日～2024年 8月31日

NEXCO気象観測局データ
大分道

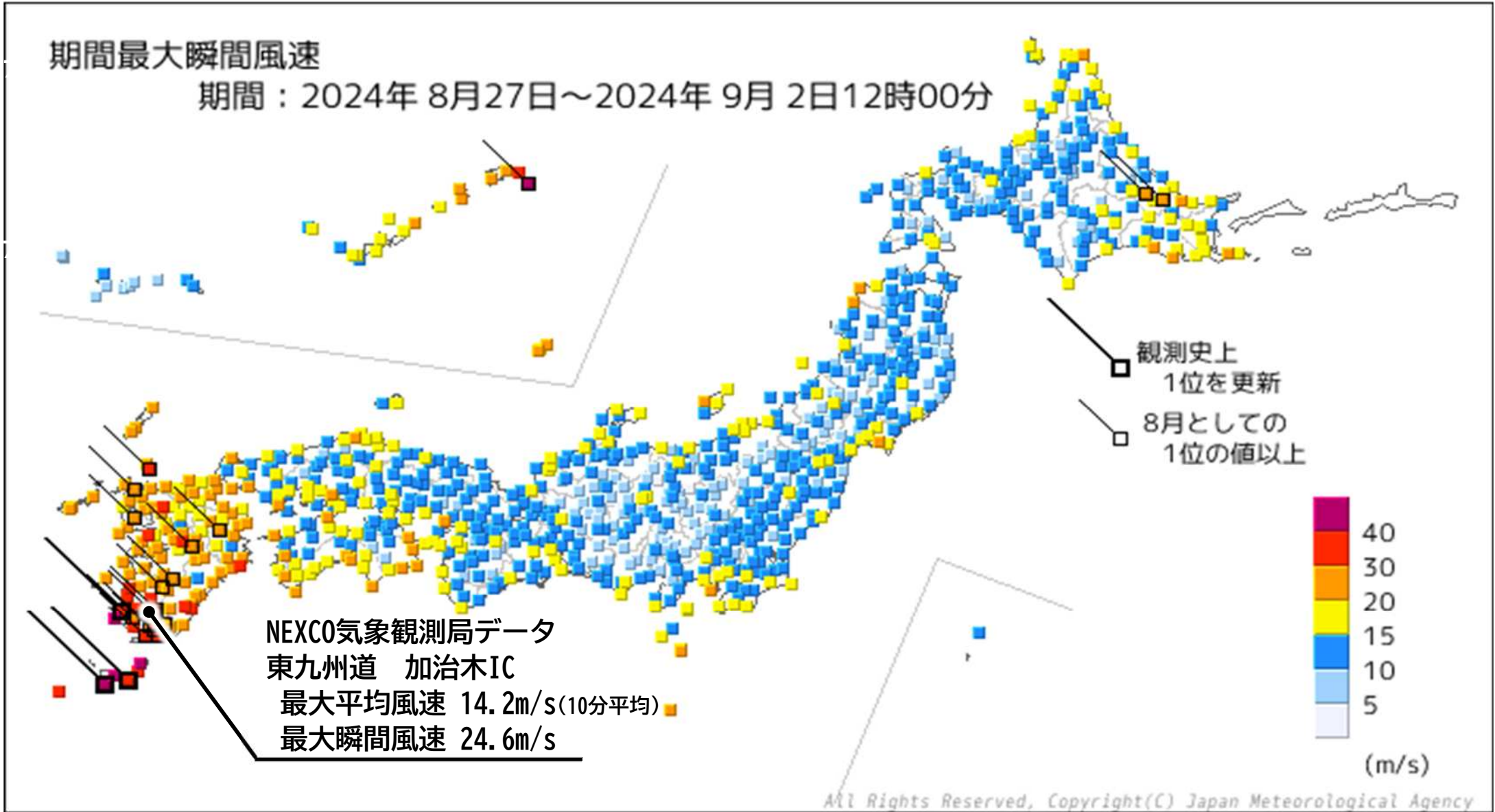
最大時間雨量 80mm/h
最大連続雨量 772.5mm

観測史上
1位を更新
8月としての
1位の値以上



All Rights Reserved, Copyright(C) Japan Meteorological Agency

強風状況



出典：気象庁

通行止め予測の発表



大雨・強風の影響による高速道路の広範囲での通行止めに関する情報提供として、気象予測に基づく「高速道路の通行止め予測」を発表し、お客さまのお出かけへの影響を最小限に抑える取組みを実施

NEXCO 西日本

令和元年 8月 25日
18時 00分
西日本高速道路株式会社

台風10号の影響により 通行止めの可能性がある区間のお知らせ(第6報)

～不要不急の外出はお控えください～

台風10号に伴う大雨及び強風の影響により、九州地方の高速道路で通行止めの可能性があります。



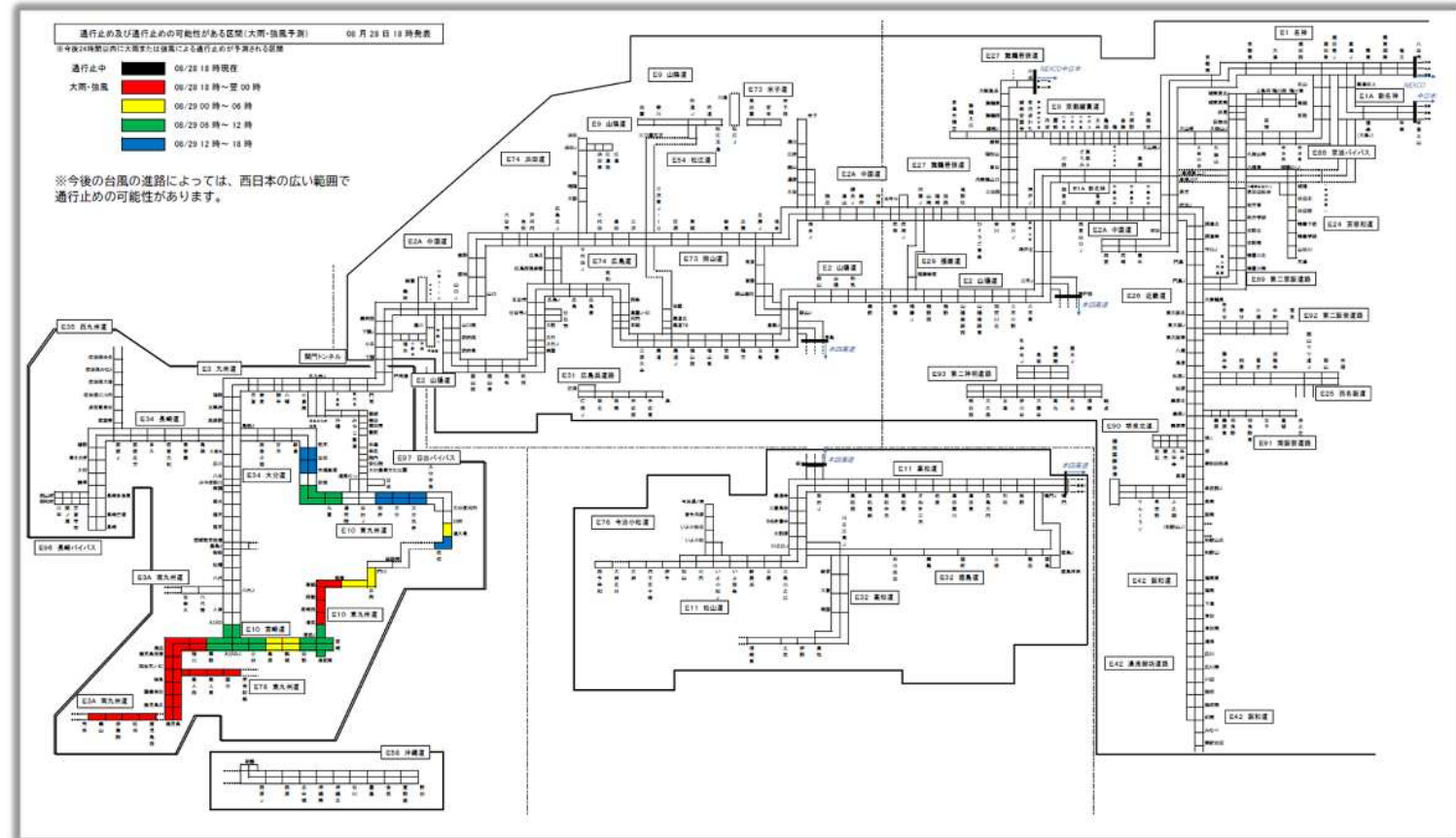
今後の台風の進路によっては、西日本の広い範囲で通行止めの可能性がありますので、最新の気象情報や交通情報を確認いただくとともに、不要不急の外出はお控えください。

通行止めの可能性がある区間は、別添資料をご確認ください。
(別添資料) 通行止めの可能性がある区間(8月28日(水) 18時30分現在)(西日本管内)

なお、運送事業者および荷主企業の皆さまも、今後の気象予測や最良の交通状況をご確認いただき、運送日の調整をいただくなどのご協力を併せてお願いします。

■最新の交通情報
高速道路をご利用の際は、最新の交通情報をご確認ください

- アイハイウェイ(NEXCO西日本) <https://highway.jp/>
24時間、高速道路の経路・料金・料金マップや交通情報を確認することができます。
- 高速道路影響情報サイト <https://ex.saw.com/>
各運送会社のホームページに掲載している重要な情報を確認することができます。
- 日本道路交通情報センター(JARTIC) <https://www.jartc.or.jp/>
一環線などの道路状況を確認することができます。

【第6報】台風10号が最も発達した際の予測広報(8月28日18時発表)

通行止め状況



◆通行止め延長 8/28 (水) ~ 8/31 (土) の4日間累計

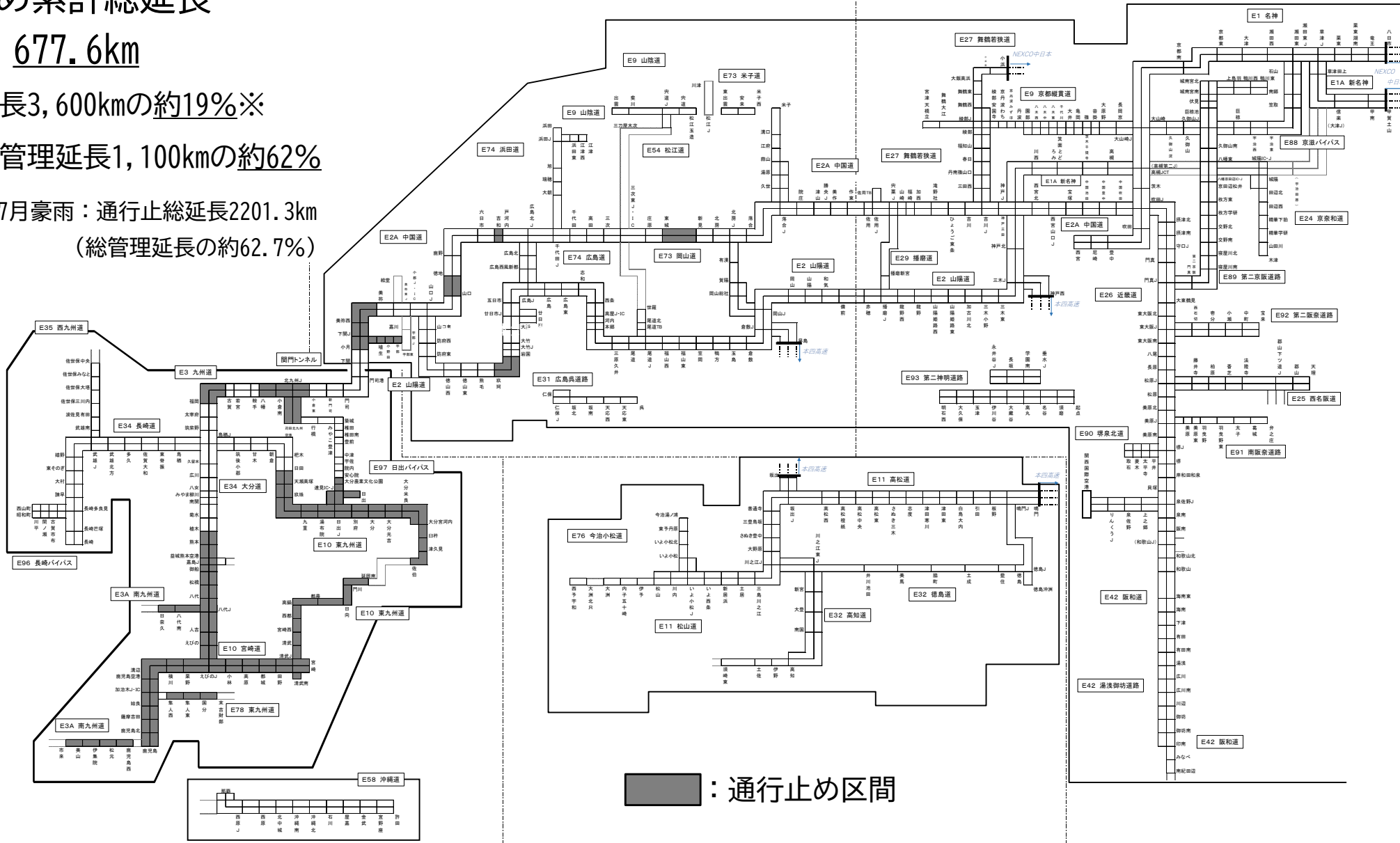
通行止め累計総延長

8路線 677.6km

総管理延長3,600kmの約19%※

九州支社管理延長1,100kmの約62%

※平成30年7月豪雨：通行止総延長2201.3km
(総管理延長の約62.7%)



高速道路の被災状況 (E10 東九州自動車道 臼杵IC ~ 津久見IC) 臼杵IC付近

切土のり面の崩落

発見日時 令和6年8月29日(木) 10時頃

被災状況 切土のり面の内、2段目及び1段目
において崩落が発生



高速道路 の 被災状況 (E10 東九州自動車道 臼杵IC ~ 津久見IC) 臼杵IC付近

有識者による「東九州自動車道 臼杵IC~津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会」を立ち上げ、安全性や復旧内容の検討・確認を行い、復旧作業を鋭意すすめているところです。

第1回 令和6年9月3日(火) 崩落原因について確認

第2回 令和6年9月15日(日) 復旧内容について決定

東九州自動車道 臼杵IC~津久見IC間
のり面災害に関する技術検討委員会
第2回の結果概要

1. 審議内容

- 現地にて地山の状況を確認し、復旧範囲及びのり面対策工を決定した。
- のり面対策工として、コンクリート吹付工及び切土補強土工(鉄筋挿入工)等を実施することを確認した。
- 今後ののり面監視に関するモニタリング内容及び降雨時における通行止め基準を確認した。
- 上記の施工完了後、モニタリングの実施及び降雨基準の運用をもって通行止めの解除を行うことを確認した。

2. 今後の予定

- 通行止め解除に向け、のり面復旧作業の施工状況について、第3回技術検討委員会にて確認を行う。

以上



第2回 技術検討会 開催状況

◀ 技術検討委員 ▶

- | | | |
|--------|---------------------|------|
| 笠間 清伸 | 九州大学大学院 工学研究院 | 教授 |
| 工藤 宗治 | 大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 | 准教授 |
| ○三谷 泰浩 | 九州大学大学院 工学研究院 | 教授 |
| 三保木 悦幸 | 国土交通省 九州地方整備局 | 道路部長 |
- (○ 委員長) (50音順、敬称略)

通行止め解除の見通しについて、今後1.5~2ヶ月程度要する見込み (令和6年9月17日発表)